

研究課題名	肺高血圧症患者に対する右心カテーテル検査時のエルゴメーター運動負荷による血行動態指標の変動解析
研究の意義・目的	近年新規の治療薬も増えてきていますが、未だ肺高血圧症の患者様の予後は悪いとされており、いつどのような時期にどのような薬物療法を開始するべきなのかという疑問は解決しておりません。肺高血圧症（ならびに境界域肺高血圧症）を有し、運動している状態での肺の血圧などの観察が必要と判断された方を対象として、カテーテルによる圧測定時に運動をして頂き（自転車のような機械を漕いで頂きます）、運動時の肺動脈の圧変化を測定させて頂いております。この研究では、運動負荷中の圧力変化と、その他の検査データとの関係を解析し、将来の病状の変化が予測できないかを検討することを目的としています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～ 2030年3月31日
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2020年11月～2025年3月に大阪公立大学医学部附属病院の循環器内科で、肺高血圧症もしくは境界域肺高血圧症と診断された患者のうち、スワングアンツカテーテル挿入下で行うエルゴメーター運動負荷を行った方が対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	<p>診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させていただきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 年齢、性別、身長、体重、疾患名、併存疾患、生活歴、嗜好歴</li> <li>② 血液検査：末梢血算（白血球数、白血球分画、赤血球数、ヘモグロビン、血小板）、生化学検査（総ビリルビン、AST、ALT、BUN、クレアチニン、尿酸、Na、K、Cl、Ca、P、BNP、NT ProBNP、トロポニン T）</li> <li>③ QOL スコア（CAMPHOR score, emPHasis 10）</li> <li>④ 血液ガス分析</li> <li>⑤ 胸部レントゲン検査</li> <li>⑥ 12 誘導心電図</li> <li>⑦ 呼吸機能検査（FEV1, %FEV1, FVC, %FVC, DLCo）</li> <li>⑧ 経胸壁心臓超音波検査（LVDd/Ds, %FS, LVEF, LAD, IVC, TRPG, TMF, E/E' , TAPSE）</li> <li>⑨ 右心カテーテル検査（圧、心拍出量）</li> <li>⑩ 胸部造影 CT 検査</li> <li>⑪ 肺動脈造影検査</li> <li>⑫ 慢性血栓塞栓性肺高血圧症におけるバルーン肺動脈形成術施行時の術中所見（血管内超音波（IVUS）、プレッシャーワイヤーを使用した圧データ、血管内視鏡所見など）</li> <li>⑬ 肺血流シンチグラフィ検査</li> <li>⑭ 心肺運動負荷検査</li> <li>⑮ スワングアンツカテーテル挿入下で行うエルゴメーター運動負荷時の圧、心拍出量、血液ガス分析</li> </ol>
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪公立大学医学部附属病院・循環器内科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪公立大学医学部附属病院・循環器内科のみで行います。
試料・情報を管理する責任	大阪公立大学大学院医学研究科 循環器内科学 研究責任者 山口 智大

者	
本研究の利益相反	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 循環器内科学 (担当者氏名) 山口 智大 電話番号：(06) 6645-3801 メールアドレス：tomohiro.y.1987@omu.ac.jp